

お知らせ

(2000円程度)も予定しています。

◆遠藤周作の新しいCD

『自分の知らぬ自分』

新潮社 税込価格 2000円

2010年1月発売

◆文学セミナーのお知らせ
〈遠藤周作と長崎・五島〉
5月22日(土)24日の「遠藤文学原点の旅」の旅行説明会を兼ねたセミナーです。加賀乙彦会長もお見えになる予定です。遠藤文学と長崎、五島およびキリシタンについて等、会長を囲み座談会形式で行なう予定です。もちろん、旅行に行かない方も出席自由です。ぜひ、ご参加ください。

日時 4月24日(土)午後3時～5時
会場 日本ペンクラブ会議室

会費 1000円
申し込みの必要はありません。当日直接会場にお越しください。なお、終了後に近くの居酒屋で懇談会

【内容】書き下ろし長篇『スキヤンダル』が刊行された1986年、東京・紀伊國屋ホールで行なわれた52分の講演を収録したもの。
人間の「外面(そとづら)」と「内面(うちづら)」をユーモアをこめて語りつつ、心の奥底に眠る神秘の領域に触れる。
「本当の自分とは何か」について、63歳の遠藤周作が語る。

◆遠藤文学講座のお知らせ

「遠藤周作の生涯と文学」『イエスの生涯』・『キリストの誕生』を読む
日時 3月13日、4月10日、

原稿募集

「周作クラブ」の思い出

「周作クラブ」10周年記念号(第40号、8月下旬発行予定)の原稿を募集します。内容は自由です。下記の要領に従って、ふるってご応募ください。

会に入ったことによる新たな遠藤文学との出会い、また人との出会い、旅行や会合、周作忌などの思い出、会報と自分等、何でも結構です。

〈応募要領〉

▼手書き、パソコンいずれでも結構ですが、必ず下記「周作クラブ」まで郵送してください。

▼原稿の長さは400字～800字位を目安にお願いします。できるだけ「タイトル」をつけてください。

▼締め切りは6月30日、住所、氏名、電話番号をお忘れなく。

以上、できるだけ多くの皆さんからの応募をお待ちしております。

6月12日、7月10日(土)
3時20分～4時50分
(日時は変更する場合がありますので、申込みの際にご確認ください)

場所 幼きイエス会
(四谷駅麹町口前)

TEL 03-32261-0825

講師 山根道公

受講料 1回2000円(学生半額)

申込み 風編集部

TEL 086-227-5665

内容 『イエスの生涯』の続編『キリストの誕生』を読み解き、弱い弟子たちを変えていく永遠の同伴者キリストについて考えます。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」に入会しませんか。年会費(9月～翌年8月)は3千円です。年4回、遠藤文学に関する様々な情報が載るこの会報が送られるほか、会が主催する勉強会やパーティー、遠藤文学の足跡を訪ねる旅行会などに参加できます。

遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという若い人も大歓迎です。また会員の方も、どうぞご家族や友人、知人をお誘いください。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折返し会費振込用紙をお送りします。

◆編集後記

▼関東はおだやかなお正月でしたが、北陸や東北は記録的な大雪が今(2月上旬)も続いています。皆さんのところはいかがでしたでしょうか。

▼1月30日、東京の一ツ橋「如水会館」で開かれた新年会の日も、好天に恵まりました。加賀乙彦会長が、「遠藤さんの会はいつも天気が悪いのに、どうしたんだろう」と仰ったほど。「天国での遠藤さんも年をとって穏やかになり、いたずら心もなくなったのかな」と。

▼この日、久しぶりに遠藤先生にお会いしました。宮辺尚さんが「樹座」の映像記録の中から遠藤先生出演の場面を選んで、上映してくれたからです。「樹座」の一端を初めて見た人は興味深かったと思います。思わず涙がこぼれてしまいました。何人かいた旧「樹座」の人たちの中にも、泣いている人がいました。

▼巻頭にも書きましたが、今年は長崎の「遠藤周作文学館」創立10周年です。同時に「周作クラブ」発足10周年でもあります。記念の特集号や企画を検討していますが、ぜひご意見をお寄せください。(颯)

「周作クラブ」第38号

2010年2月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 金子 コウ

■編集 岡田厚美、黒澤政子、近藤恭弘

■発行所 高木香織、太原正裕、矢内一正

東京都世田谷区上馬4-29-17

加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL 080-1097-1979

FAX 03-3411-7939

●次回の会報発行は5月の予定です。